

編集と発行 高知県安芸郡馬路村 馬路村公民館
印刷 川北印刷所

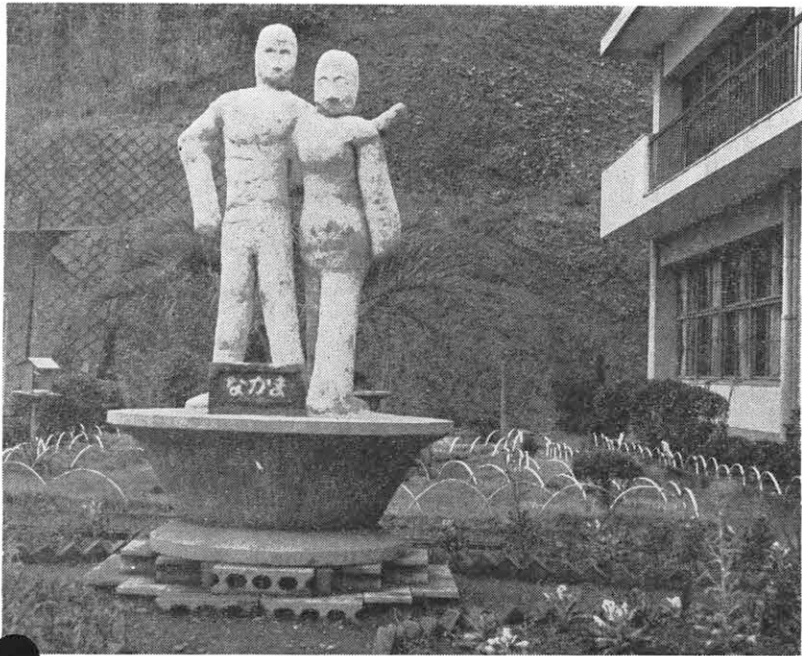
うまじ

人口と世帯数 (4月末日、住民基本台帳による)

大字	男	女	計	世帯数
馬路	656	668	1,324	414
魚梁瀬	440	433	873	332
計	1,096	1,101	2,197	746

一口辞典

馬路村の面積 S. 43.7. 現在 (ha)
総面積 16,507
うち
田 41.72
畑 15.25
果樹園 10.24
山林 15,941.82
その他 497.97
(村振興計画書から)



卒業生より在校生へ心暖まる贈もの

毎年卒業期には、卒業生が母校に対して何か記念品を遺していくのがならわしとなっております。そして、各学校とも心あたたまる記念品が贈られています。

昭和45年度魚梁瀬中学校卒業生から後輩にとっては大へん貴重な上記写真のような彫塑が贈られました。

卒業生たちは同期のなかまとしていつまでも手を結びあつてがんばっていくことでしょ。

(魚梁瀬中学校)



役場では有線放送の廃止に伴い、市内に公衆電話を増設しました。今後、村民の皆さんが、役場にご用で電話を掛けられる際は、要件に応じて、できる限り次の電話を利用される様に、お願い致します。

「住民課」五十四番
戸籍及住民登録並に諸証明、

スピード違反、飲酒運転
無免許運転をなくし
事故のない平和な
村をつくりましょう

村道平野線改良工事など

四十六年度一般会計一億六千二百五十万円の歳出予算性質別内訳は、別表2のとおりです。昨年度と同様、普通建設事業費が、三十八・六割と、最比重を占め、人件費、物件費が続いています。

本年度建設事業の主要なもの
で村道関係で村道平野線改良工事(延長二百〇〇、中員三〇)北
路線新設工事(延長百五十、中員三〇)北
路線新設工事(延長百五十、中員三〇)北
路線新設工事(延長百五十、中員三〇)北

三月定例議会は、三月八日招集され、六日間にわたり、提出された議案について審議、全議案を、原案どおり決定致しました。その結果、昭和四十六年度一般会計予算は一億六千二百五十万円(別表1参照)となり、前年度当初予算より、三千六百七十二万円の増となっております。 なお簡易水道特別会計は、三百三十四万円、国民健康保険特別会計は、千五百十五万五千円の予算となっており、昭和四十六年度本村の純計総予算額(一般会計、特別会計間の繰入金、繰出金を相殺し各会計予算を合計したもの)は、一億七千六百四十九万五千円(前年度当初予算一億四千七百三十七万円)となっております。 特別会計では、医療費の増高により、国保税率が改正されました。所得割は、百分の二・八が、百分の三・〇に、資産割百分の三十一・五が百分の三十二・〇に、均等割九百円が千二百円に、平等割千三百円を千六百円に、それぞれアップされました。実際の税額は、被保険者一人当たり年平均三千八百九十四円となり、前年度より約七百八十円の増額になる見込です。

三月定例議会から 一億六千二百五十万円 昭和四十六年度一般会計当初予算

別表1 昭和46年度一般会計予算(単位千円 比率%)

歳入				歳出			
款別	金額	比率		款別	金額	比率	
1. 村	64,532	39.7	税	1. 議	5,029	3.1	会費
2. 自動車取得税交付金	2,500	1.5	交付金	2. 総	27,031	16.6	務費
3. 地方交付金	45,000	27.7	交付金	3. 民	11,508	7.1	生費
4. 地方交付金	1	—	交付金	4. 衛	7,482	4.6	生費
5. 地方交付金	2,745	1.7	交付金	5. 労	50	—	働費
6. 使用料及び手数料	412	0.3	手数料	6. 農	39,469	24.3	林水産業費
7. 国庫支出金	14,755	9.1	支出金	7. 商	1,349	0.8	工費
8. 県支	16,601	10.2	出	8. 土	22,745	14.0	木費
9. 財産	959	0.6	収	9. 消	5,999	3.7	防費
10. 寄	8	—	入	10. 教	27,384	16.9	育費
11. 繰	7,389	4.6	入金	11. 災	220	0.1	害復旧費
12. 繰	4,422	2.7	入金	12. 公	9,182	5.7	債費
13. 繰	676	0.4	入金	13. 諸	4,200	2.6	支費
14. 村	2,500	1.5	債	14. 予	852	0.5	備費
計	162,500	100.0		計	162,500	100.0	

教育委員長に 西野真司さん

同じくこの議会で、欠員の教育委員の任命同意に関する議案が提出され、西野真司さん(4才)が選ばれました。

教育委員会では八日、委員会を開き、新教育委員長に、西野さんが互選されました。

庁内電話番号 について

役場から

有線交換手
小松 艶子

※退職(三月三十一日)

14日 小石川山祭、植樹祭
22日 山振事業現地視察(壽原町)
24日 春季ソフト・ボール大会(馬路地区)

庁内人事

産業建設課 岩城 保
式部 昇
住民課 衛生係 乾 由利江
魚中用務員 五百蔵照美

日誌

三月

8日 定例議会(13日まで)
13日 庄屋祭、川口橋落成
16日 中学校卒業式
17日 農業委員会
18日
23日 小学校卒業式
25日 有線放送電話廃止、地域団電話竣工式
30日 選挙管理委員会

四月

14日 小石川山祭、植樹祭
22日 山振事業現地視察(壽原町)
24日 春季ソフト・ボール大会(馬路地区)

新任係(四月一日)

総務課長 乾 俊秋
住民課長 山崎 正夫
議事事務局 永吉 仁志
魚梁瀬支所長 岡田 長康
総務課 村有林財産管理、国土調査係 岩城 保
産業建設課 式部 昇
住民課 衛生係 乾 由利江
魚中用務員 五百蔵照美

別表2 歳出予算性質別内訳 (単位千円 比率%)

区分	予算額	比率	備考
人物維持補助費	44,246	27.2	予備費含
維持補助費	245,70	15.1	
扶助費	3,137	1.9	
補助費	3,828	2.4	
扶助費	11,291	7.0	
扶助費	9,182	5.7	
扶助費	501	0.3	
扶助費	168	0.1	
扶助費	2,600	1.6	
扶助費	62,757	38.6	
扶助費	220	0.1	
扶助費	—	—	
計	162,500	100.0	

長らくご苦労さん

有線放送電話



正午をもって、有線放送、交換業務を閉るにあたって、お別れのご挨拶を、申し上げます。

村民の皆さま。長い間、皆様にお世話になりました。この有線放送、電話もただ今をもって、この業務を終ることにいたしました。時代の要請は、常に新しい施設を求めてやまないから

昭和三十三年十一月から有線と電話交換を始めて以来十三年の間に、一日の休みもなく続けられた電話……。

何番、何番という呼び出し声……。

皆さんに親しまれ、愛されてきた有線放送電話でした。

お別れの後、数々の人から、ねぎらいの電話がかり、交換手さん喜びました。

本当に長らく、ご苦労さんでした。

お別れのご挨拶

有線放送電話交換手一同

時代の要請に答へ、三月二十五日正午をもって、有線放送、交換業務が、閉じられました。

昭和三十三年十一月十九日に発足して以来約十三年。

加入戸数六百十戸をもち、この間に業務にたずさわった交換手さんも、二十一名を数えました。

番号を言わなくても通じた電話……。

雨のため、故障で通じなかつた電話……。

昭和三十三年十一月から有線と電話交換を始めて以来十三年の間に、一日の休みもなく続けられた電話……。

何番、何番という呼び出し声……。

皆さんに親しまれ、愛されてきた有線放送電話でした。

お別れの後、数々の人から、ねぎらいの電話がかり、交換手さん喜びました。

本当に長らく、ご苦労さんでした。



新旧の電話器

昭和四十六年度高知県消防大会は、四月二十七日正庁ホールに於て、溝淵知事を迎え盛大に開催されました。

この席上、本村の消防団が日頃の功績を認められて、卒頭綬の知事表彰を受けました。

なお、消防団員として二十五年以上勤務された方に消防庁から表彰される永年勤続功労章は本村から次の方が表彰を受けました。

- 団長 岩城 義喜
- 副団長 尾原 宗寿
- 副副団長 榎岡 昭郎
- 副副団長 榎岡 保
- 部長 山中 福治

知事表彰を 馬路村消防団

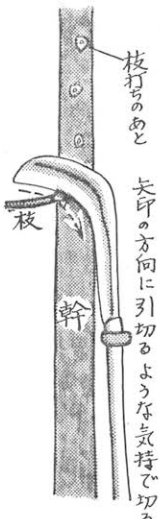
良質材生産をねらう (その3)

昭和三六年、木材市況の暴落は中小企業に大きな打撃をあたえ多くの倒産が続出した。また四〇年の台風時にも一時的にはあったが市況が悪かったことは今でも記憶に残るものであります。

このような木材市況の変動は、あっても国産材の価格は物価の先端を上げ続けられて参りました。

僅かな山林を持つものでも樹を植えることによつて、それがたとえ財産保持的なものにして経済的安心感を得、成長を樂しむ住いの素材とし、また、何かと出費のかさむ家庭経済に役立てて来た訳であります。

しかし貿易の自由化がすすむにつれて最早や国産材の小径木



は植えておいたら何時でも売れるというふうなものでなく、それは山村の生活様式の変化、労働に対する考え方の違つて来たように、たとえばあらゆる電化製品をプロパンガスを耕運機を家庭にとり入れ能率的に仕事を、即ちただ骨を折つて働くことだといった従来の考え方から脱皮した労働観のように林業

も良い製品にしなければいけないという切迫時期に直面して来たようです。

だから山で生きようとするかぎり林業も大衆の好むものを育てなければ収益にむすびつかないのではないだろうか。

能率向上の枝打法

最近村内でもだいぶん枝打ちした造林地がみられるようになりました。森林組合も林業研究会に協力して一般林家を先進地の久万林業に視察させるとか村内に講習会を招くなどして枝打ち技術の講習会を開き良質材生産を呼びかけております。

ご承知のとおり枝打ちに使用するものはノコ、柄鎌、なた等の枝打ち専用のものができており馬路村では昨年山村振興の補助事業として枝打ち柄鎌の導入も致しましたが今のところ手練れないため能率が上がらず、もつぱら手ノコを使用される方が多いように見受けられます。目

下のところ自家労働でやる程度では考えないかもわかりませんが高い賃金を払って行うと能率を上げる方法でなければ採算がとれません。枝の径が一寸以上もある造林木はともかくとして杉の十二、三年生松なら十年生位迄のものであれば下刈鎌のなるべく別給のとおり、ペナ鎌を切れ味よくして使用する。非常に能率が上がります。私の家では四、五年前から下刈鎌を使用し試みており本年第二回目の枝打ちも行つております。使い方に弱冠要領があり失

林業講座

(14)



大人から子どもに広く利用された電話

コウモリ

鳥のなかまも、けものたちが二つに別れて戦をした時、コウモリは様子をみていました。

けものの方が勝ちそうになると「私はからだに毛があるからけもの」と言い、鳥の方の勢いよくなるから「私は羽根があるから」と鳥の味方をして

シロバラコーナ

さて、さんさん戦ったあと、仲直りするだんになる、鳥からも、けものからも仲間はずれとなり、仕方がないので、みんなの休む春れ

シロバラクイズ

第十回の結果

自分の主張と、立場をハッキリすることが大事で、選挙に際しても自主性のある正しい行動が、明るい政治への道であります。

(シロバラは明るく正しい選挙のシンボル)



乾みり子さん(影)

特賞

第十回のクイズには二十八通の応募があり、正解は二十四通でした。

抽せんの結果、馬路影部落の乾みり子さんに特賞、魚梁瀬の富野スミ子さんに二十名に残念賞を、おくりました。

第十回の正解

①馬路村議会議員選挙の投票率は九十・四五％ ②新人議員は四名当選 ③村内小学校入学予定の児童は三十七人 ④シロバラは明るく正しい選挙のシンボル

皆さんに親しまれてきました、シロバラクイズは、都合により前回をもって、終了致します。多数のご応募、ありがとうございました。

時間を守る 習慣を身に つけましょう



(時の記念日)

河平 稔

新役員事業計画など決定

村内青年団

村内の青年団は四月に、総会を開き、役員改選や事業計画を決めた。

若者が都会へ流出し、仲間が少なくなっていますが、団員は大いに、ハッスルしようとして数多くの事業計画を立てています。

魚梁瀬青年団

目標 「団員相互の連帯を図り、それに基づき自主的行動を

役員

- 役員数 二十一名
- 役員
 - 団長 井上洗士郎
 - 副団長 岡田 卓生
 - 伊吹 美香
 - 清岡 みさ
 - 書記 五百蔵照美
 - 武田 譲二

総務 山崎 推男

◎主な事業計画
。体育祭、神祭等の主催及び協力。
。レクレーション、スポーツ活動。
。奉仕活動。
。パンド部の結成。
。交換会など
馬路青年団

目標 「青年のいこいの場とし、自己研修を図る」

役員

- 役員数 十五名
- 役員
 - 団長 清岡 敬二
 - 副団長 高橋 里美
 - 会 計 乾 加代
- ◎主な事業計画
 - 。村執行部との話し合い。
 - 。レクレーション活動。
 - 。各種行事への協力参加。
 - 。学習会。
 - 。交換会など



今回から、私がこの欄を担当します山崎です。どうぞ、よろしくお願ひします。

御知らせ

(1)相談日開設について
毎月水曜日には、都合のつく限り、皆様の相談にのりたいと思っておりますので、この日は一日中相談室で来所をお待ちしています。

なお六月は、予防接種その他でいそがしいため、毎月曜日に変更させていただきますと思ひます。

六月七日、二十一日(相談室)
六月十四日、二十八日
(魚梁瀬公民館)

七月七日(二十一日は休み)
(相談室)
七月十四日、二十八日
(魚梁瀬)

以上、二カ月分の予定を載せました。



【山崎保健婦さん】

どうぞ、ご利用下さい。
◎日本脳炎予防接種について
日本脳炎は、七月～九月頃に掛けて、多く発生する致命率(死ぬる人の割合)の高い、伝染病です。
五才～九才と六十才以上の老人に多く、一度この病にかかると、決めることになる治療法がないと言われる恐い病気です。
したがって、病気になるらないためには、蚊の駆除はもちろんのこと予防接種が一番良い方法です。六月には、日本脳炎の予防接種を行います。
多くの人の予防接種を期待します。

これからの梅雨の季節、田も忙しくなりましようが、十分な栄養と休息で、健康な毎日を通しましょう。

みどりさわやかに崩れ...
皆様には、ますます御清祥に、おすごしの御事、うれしきわみでございませう。

お蔭様で、中芸消防署は先輩各位の輝かしい消防精神の伝統のもとに、四月一日開署以来鋭意任務の遂行に邁進致しております。総員二十四名の署員一同はすべて、皆様の御期待にそいたいと念願致しております。次第でございませう。

を配署し、許可、検査、指導、調査、同意などの消防行政を行い消防署では、二十四時間勤務で昼夜火災、水災、その他の災害にそなえています。
また従来の町村消防団を消防本部に統合して、出動地区の火災を知れば直ちに火災現場にかけつけて、消防署と協力して、消防活動に従事する体制をとっています。

火災にそなえての心がけ
「避難のための心がけ」
○病人・子供・老人は階下の出入口の近くの避難しやすいところに寝かせ
○身体の不自由な人や子供だけを残して外出しない。
○万一にそなえて、はしごやロープを準備する。
○煙には姿勢を低くしハンカチなどで口をおおう。
○逃げだしてから、物を取りにもどらない。
〔防火の四チェック〕
(火を取扱うとき)
○場所は危険でないか。
○器具は安全か。
○使用方は正しいか。
○あと始末は確実か。
〔消化の四ルール〕
(火事を大きくしないため)
○早く見つける。
○早く知らせる。
○早く消す。
○消化のじやまをしない。

中芸消防署について

中芸地区五ヶ町村の広域行政の一環として発足した中芸消防組合は、消防本部、消防署、消防団を設け、地域住民の生命、身体、財産を水火災、その他の災害から保護する重要な任務を、もっております。
今回村広報の貴重な紙面を、おかりして、消防の組織について説明すると共に消防行政全般について、皆さんご協力を、お願い申しあげたいと存じます。

中芸消防

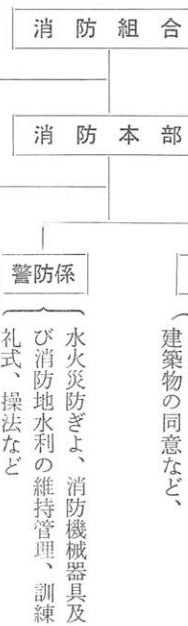
中芸消防組合
電話(田野局) 三三三番
中芸消防署

馬路村 今後の柚子栽培について(その2)

第一表のように接木のものと一本一升、収穫木で一・二升あがるのとすると、収穫高は八十五石となります。
第二表より一升、千五百円と

また接木の物が一本二升となり収穫木で一・五升あがるものとする、百五十石の収穫高となります。
一升千五百円とすると、二千二百五十万円となり栽培農家百五十戸とすれば一農家あたり十五万円となります。
この二例をみて一農家八万五千円十五万円しか、ユズで収入が得られないことがわかります。ユズでこの程度の収入しかえられないようでは、ユズの産地とはいえないでしょう。
すくなくとも一農家四十万五千円の収入があったらいいのです。ユズで四十万五千円の収入を上げるには一農家あたり五万円に百本の植付が必要です。

北川村のユズ栽培の現状と予想について。
栽培農家戸数 二百四十五戸
推定果汁収量 三十五石
果実 三十五t
四十五年度果皮出荷量 十四t
以上の調査結果から、推定果実生産量百t(果汁で百石)近いものと思われまます。
五年後の収穫予想は約三百石と見えています。



中芸地区五ヶ町村の広域行政の一環として発足した中芸消防組合は、消防本部、消防署、消防団を設け、地域住民の生命、身体、財産を水火災、その他の災害から保護する重要な任務を、もっております。
今回村広報の貴重な紙面を、おかりして、消防の組織について説明すると共に消防行政全般について、皆さんご協力を、お願い申しあげたいと存じます。

郵便局だより

作文の募集 簡易保険

松山郵政局では、簡易保険の相互扶助思想の普及と学校教育振興のため「第十回全国児童生徒作文コンクール」を行ないます。多数の応募をお待ちしております。
応募要領は次のとおり。
一、応募資格
小学校 五、六年生
中学校 一、二、三年生
二、課題
次のいずれかを選ぶこと。

- (一) 「簡易保険」またはこれに関連あるもの。
 - (二) 自由題
 - (三) 原稿の長さ等
 - (四) 四字づつ原稿用紙五枚以内とし、作品には一点ごとに応募票(大きさ自由)を作文の上部につけること。
 - (五) あて先
- 近頃の郵便局へ持参するか、または、郵便局あて郵送のこと

父 母 赤ちゃん 続柄 生年月日 部落

高橋 睦夫	玉岐	寿枝	長女	3.5	魚梁瀬
上総 正一	操子	良一	二男	3.6	魚梁瀬
萩野 巖	委江子	美保	二女	3.27	魚梁瀬
甲藤 昇	くるみ	久美	長女	3.29	魚梁瀬
田村 健児	敏子	将二	二男	4.19	魚梁瀬

氏名 性別 行年 亡月日 世帯主 続柄 部落

手島 省馬	男	86	3.7	本人	魚梁瀬
公文 武征	男	33	4.24	本人	魚梁瀬
小松 兼美	女	71	4.4	本人	魚梁瀬
中屋 蔭子	女	37	4.17	容臣 祖母	中ノ川
清岡 稔	男	72	4.23	本人	東川

出産おめでとう!!!

(第1表) 5年後(昭和50年)の予想

	現在	5年後	1本より下記の量がとれると	
			1本より7,000本	2本より7,000本
接木1~5年生	7,491本	7,000本	1.2升×7,000本	1.5升×7,000本
収穫木	1,447本	1,300本	1.2升×1,300本	1.5升×1,300本
合計	8,938本	8,300本	85(石)6斗	159(石)5斗

(第2表) 1升単価

数量	単価	1,000円	1,500円	2,000円
85石		8,500千円	12,750千円	17,000千円
150石		15,000千円	22,500千円	30,000千円

教育の窓

昭和46年度 馬路村教育委員会 教育行政方針

昭和四十六年度馬路村教育行政方針が教育委員会から次のように発表されました。

※基本方針

七〇年代は人間疎外の時代から人間回復の時代だと強調されている。本委員会は、国県の文教施策の動向と、村勢の発展、村民の教育への期待の増大などの現実のうえにたつて、児童、生徒、並に成人の心身の発達と特性に即する教育を推進し、人格の完成をめざして、民主的、平和的な国家及び社会の形成者として、必要な資質を養うため次のとおり行政方針を定める。

※重点目標

※具体目標

△学校教育▽

①管理運営の適正

- (1) 公教育の立場を理解して、教師としての使命感に徹し健全な校風を樹立する。
- (2) 職業倫理を高め、融和と協力の気風を醸成する。

②教育内容の充実

- (1) 教育活動を計画実践反省(評価)の有機的な関連にたつて推進し、学習指導の改善につとめる。
- (2) 児童生徒の学習意欲を高め学力の向上をはかる。
- (3) 人間尊重の精神に基づいた道徳教育、同和教育の徹底をはかる。

(3)学校の施設、設備を充実する

- と共に、効果的な教材、教具の活用につとめる。
- (4) 新教育課程への円滑な移行につとめ、その完全実施をはかる。

④地域との連携

- 学校、父兄(地域)・地教委間の交流を密にし、共通理解を深め、教育士業の開発につとめる。

立、育成

- ① 一校一研究
- ② 馬路小学校、放送施設の充実と放送教育への取り組み
- ③ 馬路中学校 集団反応分析装置(OHP)の導入とその活用
- ④ 魚梁瀬小学校環境整備と緑化活動
- ⑤ 村内小中学校水泳交換会
- ⑥ 村内教育研修会開催
- ⑦ 文集やまびこの発行
- ⑧ 写生会(こども県展)
- ⑨ 教育機器の活用(テレビ、幻灯、OHP、テープコーダー、ステレオなど)
- ⑩ 道徳教育と同和教育
- ⑪ 優良児童、九ヶ年精進者の表彰
- ⑫ 教育懇談会(学校、PTA地教委)の開催

先生の異動

転出された先生方

△馬路小学校△

- 野本明美(在勤二年)高知大附属小へ
- 松木淳子(在勤三年)安芸第一小へ
- 魚梁瀬小学校へ
- 萩野正道(在勤四年)畑山小へ
- 窪田操(在勤一年)室戸小へ
- 坂本和生(在勤一年)野根小へ
- 魚梁瀬中学校へ
- 安光二三(在勤一年)馬路小へ
- 飯田美博(在勤二年)羽

根中へ

△馬路小学校△

先生方

- ① 氏名 ② 年令 ③ 出身地
- ④ 前任校 ⑤ 出身校(大学)
- ⑥ 担任・教科担任
- ⑦ 抱負・趣味その他
- (魚梁瀬小学校へ)



①西 賢一郎



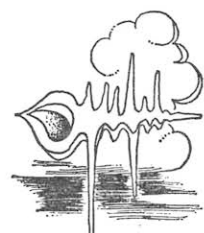
昭和四十五年度卒業生の動向

(馬路中学校)

氏名	動向
岩田 善稔	帰全農場
大野 憲昭	安芸高
岡林 修二	安芸工業高
清岡 強	東工業高
国広 純二	東工業高
小松 寿史	高知高
東谷 愛司	安芸高
浦木 大助	高知商
吉松 主司	中芸高
北村 幸三	都築紡績
乾 恵子	中芸高
大野 初恵	安芸高
小松 和枝	安芸商
小松 寿里	中央高看護科
坂本 節子	安芸商
杉本マサ子	石井産業
昇 順子	中芸高
安岡 正恵	安芸商

(魚梁瀬中学校)

氏名	動向
有沢 幸二	農業高
大石 学	伊野商
久保 正夫	大阪ガス
小松 治	職業訓練所
西山 管雄	職業訓練所
萩野 信二	高知高
井内 和子	近藤紡(津島高)
伊藤 幸子	中央高
小原 芽子	安芸高
小川 千代	丸の内高
岡林真理子	土佐女子高
佐古由利江	安芸高
田所 豊子	安芸高
竹崎 清子	安芸高
広井 洋子	伊野商
山口 成子	ユニチカ(大垣高)
吉岡ケイ子	中芸高
国貞 葉子	中芸高



馬路小学校校歌募集

馬路小学校は明治五年(一八七二)八月、学制が公布されると同時に影部落に校舎を設け、

このような観点で、広く村民各位のご協力を得て馬路小学校校歌を制定したいと思っております。どうかよろしくご協力をお願い致します。

1、締切期日 七月三十一日

2、選定方法 校歌選定委員会を設けて応募作品を審査いたし制定します。

3、当選作品 当選作品には薄謝を進呈いたします。

4、作品送り先 馬路小学校

発足し現在に至っています。百年もの長い歴史と伝統をもつこの馬路小学校に未だ校歌がないのはどうした訳でしょうか。

この恵まれた故郷馬路村の過去、現在、未来の展望の上にたつて、その進歩発展に寄与できるような人造りを目ざさなければならぬと思っております。



①手島 正彦



①曾我文紀子

②43才 ③高岡郡窪川町影野

④吉良川小 ⑤中央大学中退

⑥四年担任 ⑦山狭の町魚梁瀬の土地にご縁があつてか、二度目の奉職をさせていただくことになりました。必然とはいえ、移りゆく時代の流れの中で物心共に大きく変わらした魚梁瀬に昔を知る一人として、一層の愛着を感じさせられるものがあります。こと教育に関しては、父母の願い、子供の願い、教師の願い、それぞれ一つであるべき管です。あくまでも子供を主体に考え、一人一人の子供を大切にすることから出発すべきは今更とらたてて言わなくても当然すぎる程大事なことです。この当り前のことをこそ大切にしていきたいと考えます。このためには、学校と父兄が子供を中心にたえず交流(対話)といえましょう。がなければ成立しないことはいうまでもないことです。子供からも、父兄からも学ぶべき点は取り入れ、明日への子供達の幸へ連がる努力を続けて行きたいと考えています。

浅学非才の身ではありますが、何分ともよろしく願ひ致します。趣味もその他も少々はなさいたいと思っております。

(魚梁瀬中学校へ)



①今久保志津香

②52才 ③香美郡野市町 ④芸西小 ⑤青年学校教員養成所

⑥校長 ⑦僻地ではあるが環境にめぐまれ設備の整った魚梁瀬小学校に赴任したことを嬉しく思うと同時に、一校の責任者となり、その任の重大さを痛感しています。新米で微力浅学ではありますが、僻地教育振興のため子弟の教育に全力を尽くすつもりです。趣味は旅行すること。酒は好きで若い頃はかなりやっていたましたが、年と共に次第に減る一方です。



①岡崎 高明



①山中 健二

②47才 ③室戸市吉良川町 ④野根小 ⑤高知師範 ⑥三年担任 ⑦非力ですが一生懸命魚梁瀬教育のためにやっています。



①山中 健二

②39才 ③香美郡物部村大柵

季節の話題

一年中でいちばん日が長く、日ざしも強くなる六月は、初夏から真夏へ移り変わる時です。

暦のうえでは、立夏(五月六日)から立秋(八月七日)の前日までを夏といいますが、気象のうえでは六月から九月半ばまでを夏といっています。

野や山は緑一色、東北地方では夏の涼味を呼ぶホテルが見られ、北海道地方ではトンボやハルセミがそろそろ姿をみせましよう。

このごろは学校の制服がまちまちで、夏も冬も色調だけでは区別できませんが、以前は小倉やラシャの黒い服から、霜降り木綿服に替わり、帽子にも白い日覆いを掛けましたから、六月に入ると一時にパツと明るくなったようでした。



編集後記

本紙をお送り(村外者)していただく方々へ………移転の時には、ご連絡を。

次号は七月三十日発行の予定です。投稿の方は、原稿用紙二枚ぐらいで、七月上旬に、公民館まで。



①安光 二三